

## 日本物理学会領域2運営会議 議事録

日時： 2012年9月19日(水)12:10 – 13:24

場所： 横浜国立大学常盤台キャンパス FA 会場

司会： 領域2代表 安藤晃

書記： 領域2運営委員 田村直樹

出席者： 約 40 名

### 報告事項

1. 2012年10月からの新役員体制について説明があった。今月で退任する役員について紹介があった。また、次期副代表について提案があり、これについて承認頂いた。  
(r2meeting120919.pdf 4, 5ページ)
2. 学生優秀発表賞について、説明があった。その審査方法について質問があり、説明があった。(r2meeting120919.pdf 6ページ)
3. 若手奨励賞(第7回(2013年))の選考結果について説明があった。  
(r2meeting120919.pdf 7ページ)
4. 広島大学東広島キャンパスで開催される2013年年次大会について案内があった。  
(r2meeting120919.pdf 8ページ)
5. 上記年次大会において現在提案されている招待講演、企画公演、シンポジウムについてそれぞれの提案者から説明があった。(r2meeting120919.pdf 9-14ページ)
  - 招待講演:「サブテラヘルツ帯2次高調波ジャイロトロンの高出力発振と非線形モード間相互作用」斎藤輝雄先生(提案者:出射浩先生)
  - シンポジウム:「非平衡極限プラズマダイナミクス –その多様性と普遍性-」(提案者:伊藤公孝先生)
  - シンポジウム:「乱流が引き起こす角運動量輸送 –実験室プラズマから宇宙プラズマまで-」(提案者:横井喜充先生)
  - シンポジウム(ビーム物理領域との合同):「高電界粒子加速の展望」(提案者:ビーム物理領域からの提案)
  - シンポジウム:「「プラズマ宇宙物理3学会合同シンポジウム –プラズマ宇宙物理の新展開-」」(提案者:三好隆博先生)
6. 上記年次大会について予定している「プラズマ宇宙物理」3学会合同セッションについて説明があった。(r2meeting120919.pdf 15, 16ページ)  
他学会会員の発表について、質問があった。
7. 講演プログラム変更申請について、説明があった。(r2meeting120919.pdf 17ページ)
8. 物性分野領域の略称・表示に関する再提案について、説明があった。  
(r2meeting120918.pdf 18, 19ページ)
9. PLASMA2014 開催に向けて、説明があった。  
開催の時期やその形態について質問があり、今回も秋季大会の代わりとして開催する旨説明があった。(r2meeting120918.pdf 20ページ)
10. 領域2活動資金について、提案があった。
11. 日本学術会議の活動について、代理で領域2代表の安藤より報告があった。(資料非公開)
12. 科研費・新学術領域研究申請について、平成 24 年 8 月より学術調査官となられた京都工繊大の比村治彦先生より説明があった。(資料非公開)
13. APPC-12 について、領域2前代表の菊池より報告があった。(r2meeting120919.pdf 23, 24ページ)

以上